

第14回まちLab

とき : 平成18年11月1日(水)開催 午後7時～午後9時15分
ところ : まちやサロン於
モデレーター : 猪俣
参加者 : 樽木、長友、中村(豊)、藤野、津久井、荒井
欠席者 : 野村、中村喬、加藤、鈴木

AGENDA

■報告事項

- ① 11 / 4 「第15回ボランティアフェスティバル ぐんま」
とき : 午前9時30分～午後3時
ところ : 桐生市文化会館
URL : <http://www.net-g.jp/~vf-gunma>
- ② 11 / 3、4 東洋大学板倉キャンパス 学園祭
- ③ 11 / 1 商連&商工課・産業政策課 栃木県那須塩原市「SHOZO CAFE」視察研修

■輪読

報告者：中村豊

「地域再生に金融を活かす ～公民連携の鍵を握る金融の役割～」第2部

出版社：学芸出版社 著者：根本祐二

- (樽木) とても難しい内容だったが、レジユメが分かりやすく非常に分かりやすかった。
こういったことは、どのセクションが考えるものなのか？
- (猪俣) 指定管理者制度も万能とは言えない。PFI、民間業者も公ジャンルに入り、政策提言をするくらいの姿勢があってもいいのかもしれない。民間も、パブリック・マーケットに気付くべき。
- (藤野) 民間を受け入れる体制も必要なのでは？
- (長友) 民営化の利益で経費を償還できるのか？市民も公分野の様々な研究を積極的に行うべき。
- (荒井) 何らかの民営化したことによるインセンティブを設定できればいい。
- (津久井) 公共サービスを民営化するには「専門性の高さ」から難しさがある。
民営化を行うならば、「参加形態」、「補助・連携形態」、「利益」の中で明確な枠作りが必要ではないだろうか？

○次回「第15回 まちLab」

とき : 12/6(水)午後7時～

ところ:まちやサロン於

※次回輪読報告者：第3部 樽木、第4部 荒井